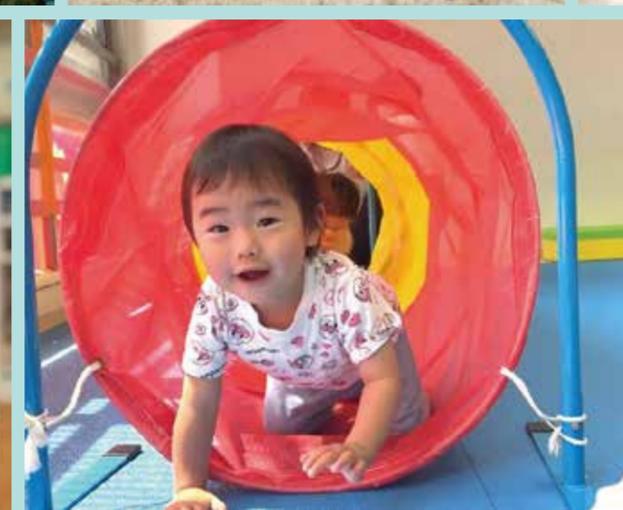


ゆんたく

2025年7月
都島
Vol.41

法人基本理念

社会福祉法人都島友の会は、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう創意工夫し、利用者の個人の尊厳を保持しながら、子どもたちの心身ともに健やかな育成と、個人が持っている能力に応じ、自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを基本理念とする。



保育士保育補助(パート職員)募集

- ◎時給 1,300円(処遇改善手当含む)
※フルタイム勤務の場合
※無資格の場合は1,114円～
※経験年数により加算あり
- ◎勤務時間 開園時間7:00～18:30の中で応相談
- ◎勤務場所 都島区・城東区の各保育施設
- ◎待遇 社会保険・有給休暇・給食代補助・慶弔給付金等
- ◎資格 保育士資格・幼稚園教諭免許

あとがき

ゆんたく制作過程において、ChatGPTを触ってみました。質問をすると様々な答えを用意してくれ、文章に合うキャッチコピーまで教えてくれました。参考になるものも多く、「すごいな」と感じ。しかし、教育・保育・療育・介護はAIで出来るものではなく、人と人の関わりが中心の仕事。相手の気持ちに寄り添い、気づき、コミュニケーションを図るところでは、やはり人間にしかできない仕事を私たちはしています。

幼保連携型認定こども園
都島児童センター
林 大介



花には、おひさま
 子どもに、平和
 つよい子、よい子は
 ケンカをしない

社会福祉法人
 都島友の会
 理事長 渡久地 歌子

節目の年に

2025年6月23日、沖縄の住民を巻き込んだ凄惨な地上戦から80年のこの日、当時を偲んで犠牲になられた人々を悼む【慰霊の日】が営まれました。私事ですが、夫は遺族の子でもした。父の顔も知らないまま育ち80歳で亡くなりました。

義父は、軍属として、船、乗組員、多くの兵隊さん、生活物資等の輸送を命じられて南方へ行ったのですが、家族関係者には一切知らされず、ある日突然「船が米軍によって沈没させられた」だけの報告。生死はわからない、遺骨もないまま、今年で80年になります。今では糸満市の平和記念公園にある【平和の礎】に名前が刻まれています。10年前に主人とその地を訪れ刻まれた碑の前に花をたむけ、手を合わせてきました。

世界各国、どの国であっても戦争はあってはなりません。私にとっても6月23日は平和の大切さを考える【節目の年】でした。

戦争について考える中で、当法人 都島友の会の、創設者・比嘉正子から引き継いでいる【スローガン】を改めて考えてみますと、

- 一、 花には、おひさま
- 一、 子どもに、平和
- 一、 つよい子、よい子はケンカをしない

●「花には、おひさま」とは、
 生命宿し、育ちいくすべてのものに自然環境、物的環境、人的環境、心理的環境が影響します。人間は自然環境の生態系を変化させながら文化を営んでいます。安全、安心な質の高い環境が子どもたちには必要です。

●「子どもに、平和」とは、
 日本の国には、すばらしい児童憲章があります。子どもの権利と尊厳、人権尊重、健康と安全を確保し、生活にわたる人格形成の基礎を培うため、大人が守るべきものです。学びや生活の基盤、体験の機会や自然とのふれあいは子どもたちにとってとても重要です。戦争や暴力で社会が乱れない、安らからで穏やかな不公平のない社会が必要で、自然(花)にも、子どもたちにも、その生命を守るのは、私たち大人が作り上げる社会(環境)です。

●「つよい子、よい子はケンカをしない」とは、
 みんなが笑顔になるため、悪口を言ったり、人の嫌がることをしない。人のものを取らない、いじめをしない、相手の立場を考える。

このスローガンをよくよく考えてみると、大人にも子どもにも、全てに当てはまります。
 国同士の戦争は何故起こるのか？

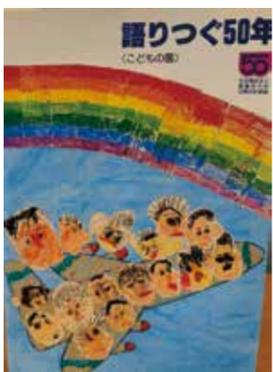
民族、宗教、資源、領土、政治権力など、色々な要因で紛争へ発展していると思えますが、私はそのひとつに「他人のもの取る、盗む」ことが要因ではないかと考えます。子どもたちにも「お人のものを取りません、取るとケンカになりますよ」と常々言っています。

今起きている戦争も、1つの要因は領土の取り合いであり、そこで犠牲になるのが子どもたちであり、住民であり、全ての生命です。早くおさまらないものかと心痛の思いです。

6月23日、沖縄【慰霊の日】への思いと、当法人 都島友の会のスローガンを改めてまとめてみました。

※社会福祉法人 都島友の会 50年記念誌
 (語り継ぐ50年) 昭和56年2月発行
 115ページ【子どもに平和】

比嘉正子園長を先頭に、花にはおひさまのぼり旗や太鼓を持った子ども達と、街を行進している写真があります。
 (昭和30年こどもの日に)



比嘉正子物語第2弾

WEB小説 『蒼天に咲くひまわりの愛』

日本の保育のパイオニアとして児童福祉の発展に尽力した社会福祉法人 都島友の会の創設者・比嘉正子の軌跡をたどる物語です。全48話。

監修：社会福祉法人 都島友の会
 著者：井上 昌子 挿絵：中塚 真



WEB小説は
 こちらのQRコードから

<https://lab-rta.com/>



都島友渕乳児保育センター

子どもたちが大好きな絵本『はらぺこあおむし』。
音楽が流れると嬉しそうに体を揺らしながら楽しんでいました。
蝶が絵本から飛び出すとこの笑顔！
楽しいお楽しみ会となりました。



都島 児童センター

青い空、みどりの芝生、思わず走り出してしまう
広い園庭が、都島児童センターにはあります。
4月を迎え、新しいクラスの始まりを感じさせる
ナイスショットな撮影に成功しました。「今日も楽しかったね」「明日もたくさんあそぼう
ね！」そんな子どもたちの会話を大切に。明日
にむかって、「よ〜いドン！」



都島乳児 保育センター

戸外あそびが気持ちいい季節。大好きな電車を見に行き、地域の方に「かわいいね〜」と声をかけられ嬉しそうに
していました。新しい友だちや保育士と好きな遊びを見つけて遊んでいます。



都島第二乳児 保育センター

屋上には菜園があり、「サンサンランド」と呼んでいます♪花や季節の野菜などを植えていますよ。4月にはたくさんのチューリップが咲き、「きれい〜」と嬉しそうなお子たち。いちごもたくさんできて、「おいしそう〜」と摘んでいます！



桜宮児童センター

新しいクラス、新しい友だちと一緒に塗り絵を楽しんでいます。「どの色を使おうかな」と選んだり、「どうやって塗ろうかな」と自分で考えることで、創造力や集中力が向上！！そして、塗り絵の話をするなど、友だちとの関わりが増えることにもつながっています。



☆みみきな鯉のぼりみーつけた☆



ひがみや 児童センター

3階と4階にひろーい屋上のあそび場がある
ひがみや児童センター！！
春になると鯉のぼりが揺れる下で子どもたちが見上げたり、元気よく遊んでいます。



成育児童センター

5歳児みどりくじら組「キラキラキャンプ」
扇町公園・キッズプラザ大阪へ行ってきました。
今年のテーマはポケモン！夕食の特製モンスターボールプレートを食べたあとは園庭で花火鑑賞。
なにより全員で参加できて良かったです。



ハンバーグと豆腐ハンバーグ

ポテトサラダ

ケチャップライスとごはん



5月

施設長会

95年の歴史と
人のつながりを大切に。

都島友の会は、2026年3月に創立95周年を迎えます。社会福祉事業の歴史が長いだけでなく、法人の基本理念が初代比嘉理事長から現在まで継承され経営理念に則った施設運営が行われてきたからです。

毎月、理事長・本部事務局長・各施設の施設長等が集まり会議を行い、社会情勢や社会福祉全体の動向、また、各施設の情報を共有して法人の方向性や課題等も議論・検討しています。

人と人のつながりを大切にし、職員・子ども・保護者・高齢者・地域の様々な人と人が支え合って成り立っているのが都島友の会です。

社会情勢の変化により求められるニーズも変わってきていますが、伝統と歴史のある都島友の会が地域の中で求められている役割は何かを考えながら、これからも地域に根ざした都島友の会であるよう、職員一体となって取り組んでいきたいと思ひます。

幼保連携型認定こども園
都島児童センター 園長 丸山 智子



か
かわ
ら
な
い
も
の
の



令和7年度は法人内施設の大規模な人事異動がありました。人は変わっても教育・保育・療育・介護内容は変わりません。都島友の会は「ひとつ」につながっています。

3月29日に行われた令和7年度の辞令交付式では渡久地理事長より28名に対して辞令が発令されました。そのうち施設長・館長は6名(以下の通り)、副園長1名、主任保育教諭・主任保育士7名、保育教諭・保育士9名、介護主任2名、介護職員3名うち新採用者は8名です。

RENEWAL

本部事務局は、理事会の意思決定に基づき、法人全体や各事業の計画的な進行管理を行う部署です。大きく分けて二つの業務があり、その一つが経営課題や事業運営上の課題について、現状のみならず将来的なリスクを含めた情報を内外から収集・分析、また提案し、経営会議や理事会・評議員会などに諮る経営企画業務です。もう一つが各施設の経理・給与・社会保険事務などを集約・処理する総務業務があります。



風を通し 心をつなぐ

都島友の会
本部事務局

令和7年度 施設長一覧

【幼保連携型認定こども園】

都島児童センター	丸山 智子
友洲児童センター	岡本 千恵(都島友洲乳児保育センターより異動)
ひがみや児童センター	瓜坂 容子
桜宮児童センター	山口 涼子(都島乳児保育センターより異動)
成育児童センター	島元 真紀子

【保育園】

都島乳児保育センター	比嘉 きみ(都島第二乳児保育センターより異動)
都島第二乳児保育センター	岩本 真弓(桜宮児童センターより異動)
都島友洲乳児保育センター	吉本 希(友洲児童センターより異動)

【放課後児童クラブ】

都島児童館	竹中 友樹(令和7年度より就任)
-------	------------------

【児童発達支援センター】

こども発達サポートステーション	
それいゆ	中島 進

【高齢施設】

特別養護老人ホームひまわりの郷・友洲地域在宅サービスステーション	
ひまわり	西平 哲



↑ 令和7年度新採用職員と渡久地理事長

ひまわり会

職員のつながりを育む“ひまわり会”

都島友の会では各施設の職員との親睦や交流をはかる目的として昭和54年にひまわり会が結成され、慰労会など様々なイベントを企画しています。

ひまわり会の名前の由来は初代理事長の比嘉正子先生の比嘉の「比」と旧名周子の「周」を合わせたもので『比周会』と名付けられました。ひまわりの花のように周囲に明るさをもたらし、太陽に向かって力強く躍進するという意味が込められています。



看護師連絡会

子どもたちの“いのち”を守るために。

現在、都島友の会の教育・保育施設に勤務する看護師は、8名在籍しています。『看護師連絡会』では、各園の感染症発生状況を共有し、日々の困りごとなどを情報交換する場となっています。また、教育・保育施設の職員に向けて保健研修も行い、子どもたちの健康管理だけでなく、緊急時の対応として心肺蘇生法や誤嚥時の対応など保健的知識のスキルアップを目指しています。病院とは違い医療面で問題が起きた時に、子どもたちの命を守ることができるのは、すぐそばにいる施設職員です。看護師は元より職員一人ひとりが子どもたちの大切な命を預かる者として意識を高く持ち、『安全・安心』を最優先に今後も保健活動を行っていきたいと思います。



ゆんたく委員会

話し合いを重ねて一冊に。

2007年3月に第1号を発刊し今号で41号となり発刊からもうすぐ20年を迎えます。右に写る男性4名は、ゆんたく編集委員です。このメンバーが中心となって「広報誌ゆんたく」を作成しています。「次号は春だから全体的にピンク等の淡い色をページに入れましょう」「この方法を取り入れれば、作成時間も短縮できて効率がいいね」など、話をしながら編集しています。

1冊が完成するまでに時間もかかりますが、私たちゆんたく編集委員は何度も話し合いながら進めています。

沖縄の方言“ゆんたく”の意味である“おしゃべり”という意味がぴったりな編集メンバーです。



←桜宮児童センターの笠井先生がデザイン担当に仲間入り！

副園長会

副園長としての役割を深めるために。

これからの副園長の役割について渡久地理事長との勉強会をしました。

副園長は自園の経営についても学んでいくこと、保育業界のさまざまな課題や視点に目を向け、園長の補佐・代行ができることも重要な役割の一つ。月報の読み取りから、現在の人数配置等を理解して、運営意識を持つことを再確認しました。それらを踏まえて園長と共に職員に伝えるべきこと、またフォローしていくことが大切だと思いました。また、現在の教育・保育について話していると私たちが現場職員で渡久地理事長が園長という関係だったこともあり、あの頃は・・・の話で脱線が多くなりましたが、いろいろと振り返ることもあり楽しい脱線話で盛り上がりました。(笑)しかしそこから今の理事長の思いが少しわかったようにも思います。第2弾の勉強会もあるということなので、あの頃の脱線話もしながら現在の教育・保育に置き換えてできること、そして副園長の役割の一つひとつ明確にし、園長補佐ができるよう努めていきたいと思っています。

幼保連携型認定こども園 都島児童センター 副園長 守屋 美智子
ひがみや児童センター副園長 李 美和
桜宮児童センター 副園長 山下 知子



園の枠を越えた連携で「より良い場」づくりを。

今年度、新しいメンバーを迎えスタートした主任会。各園の教育・保育について、お互いに意見を出し合い、情報交換を行っています。良いと思うところは園長をはじめ、職員たちと相談し、園に合った形で取り入れていく。法人として足並みを揃えるところはきっちり押さえていく。このやり取りが「子ども主体」かつ「安全安心の保育」や職員間での「人材育成」に繋がっていると考えます。時代のニーズに柔軟に対応していき、一日一日を丁寧に積み重ね、園児・保護者の方々はもちろん、働く職員にとっても各施設が「より良い場」となるよう主任メンバー微力ながら尽力いたします!!

主任会





つなぎつないで
95周年を語り継ぐ

100周年

令和13年3月1日

乳児イベント

令和7年10月30日

ひがみや児童センターにて法人内施設の0,1歳児を対象に人形劇の観覧を予定。



↑周年ごとの記念誌

平成23年11月

中之島中央公会堂において記念式典を挙げる。園児や職員による日舞、マーチング、合奏、和太鼓、琉球舞踊の他にひまわりの郷の入所者による詩吟などが式典に花を添えた。



幼児イベント

令和7年10月23日

都島児童センターにて法人内施設の2~5歳児を対象に人形劇の観覧を予定。

90周年

令和4年7月

帝国ホテルにて。同年4月に渡久地理事長が瑞宝双光章(児童福祉功労)の受賞を受け「叙勲のお祝いと感謝のつどい」を開催。



80周年

平成23年4月

都島区民センターにて人形劇「あつまれ元気っこ」を開催。法人施設園児以外にも近隣の保育園や地域の方を招待し「ももたろう」や「るびきのこぶた」の演目を楽しんだ。



70周年

平成14年11月

都島区民センターにて人形劇「シンデレラ」上演を依頼。午前・午後の公演合わせて園児・都島区在住の親子合わせて約800名の方が観劇された。翌週には都島児童センター・友渕保育園(当時)でそれぞれの園に姉妹園の、0,1歳児約300名が集い着ぐるみによる出し物などを楽しんだ。



社会福祉の道を歩みだした原点に立ち返りよりいっそう地域貢献ができる法人になりますよう…。その誓いと決意と共につなぎつないで100周年へ。「温故知新」過去・現在・未来へと頑張っています。



↑法人創立から節目を迎えるたびに記念誌などを発刊。70周年誌には当時の大阪府知事・大阪市長からもご祝辞をいただきました。



渡保育園

【このほり掲揚式】
春の行事といえば渡ではこのほり掲揚式！4・5歳児クラスが力を合わせて上げるこのほりは高々と空に舞い、優雅に泳ぐその姿は子どもたちを魅了します。
年少さんは時折指差しをして興味津々、年中さんでは「大きいね〜」「泳いでいるね〜」と友だち同士で話して喜ぶ姿が見られます。4歳児に進級した子どもたちは5歳児クラスのお兄ちゃん、お姉ちゃんにリードしてもらいながら、このほりを上げた喜びを友だち同士で共感していましたよ！



【進級した時の様子】
新しいクラスになったことで活動の内容も変わり、新しい友だちが増えたりと4月は戸惑う子どもたちの姿が見られましたが、新しい活動には目を輝かせ、積極的に取り組み楽しんでいきます。年少さんでは誘導ロープを使って園周辺の散歩に出たり、年長さんでは食育活動としてなすやオクラを植えて収穫を楽しんでいますよ。



松島保育園

お部屋から毎日にぎやかな声が響いている松島保育園。年少クラスでは好きなあそびを楽しみながらも、ままごとあそびで友だちと一緒に遊ぼうとする姿がたくさん見られるようになりました。これからも子どもたちが皆に関わりが心地よさを感じられるように関わりが増える環境づくりを心がけていきたいと思っています。
年中クラス・年長クラスでは、体育指導にチャレンジ！一人ひとり目標を立てて行うことで、自分のペースで楽しくできるようになっていきます。子どもたちの成長がこれからも楽しみです。



渡保育園・松島保育園の特色は文化伝承。その一環として、年長クラスの子どもたちが守り神のシーサーづくりでチャレンジ！製作したシーサーは工房で焼成し、松島保育園の作品展での展示を終えてから、子どもたちのお家の玄関の守り神になる予定です。お楽しみに！



児童発達支援センター こども発達サポーションステーションそれいゆ

2歳～就学前のお様が毎日通園しています。職員は、日々療育場面の中で、子どもたちからの発信を丁寧にキャッチし、子どもたちの好きな遊びを共感し、『もう一回やりたい』『これがほしい』などの気持ちを引き出し、自分から伝えられるよう関わっています。
また、出来たことをしっかりと褒め、自信に繋がれるように、保護者の方や地域との連携を取りながら、取り組んでいます。



シーサーと一緒にちょっと休憩♪



豆の皮むきこうやってチョコキンできるかな。

都島生活クラブ1組・2組

お菓子を選ぶ時間は、子どもにとっての小さな楽しみ。どれにしようか迷う瞬間には、わくわくと自分で決める楽しさが詰まっています。自分で選んだお菓子を友だちと食べるひときはきっと特別な時間であり、子どもたちの成長につながっているかもしれません。



中野生活クラブ

どんなボードゲームか分かるように（何人でできる？かんたんかどうか？など）それぞれのゲームにポップを用意してみました！新1年生の子どもたちでも、「簡単ならやってみよう！」など、初めて見るゲームにチャレンジしています。



ゲームによって全部ポップのデザインが異なります！→

都島児童館

都島児童館には3つの学童施設（小学生が放課後を過ごす場所）があります。私たち職員はその施設ごとに「子どもたちにとっての活動しやすい環境」について考え、子どもたちの過ごしに合わせた部屋のレイアウトや取り組みを毎日模索し、実践しています。



高倉生活クラブ

高倉はやっぱり外あそび！最近の外あそびへの声掛けや行く前の準備なども子ども同士で取り組み、その姿は職員顔負けです！公園に着くと野球、サッカー、鬼ごっこなど汗だくになりながら時間いっぱいまで遊んでいます！



みんなであつくる1年



都島児童センター

今年度も活気がある保護者会役員さんが大集合！7月7日・8日に、保護者会主催の『リサイクルバザー』を開催しました。準備では体操服のサイズ分けや選別をしていただき、当日は大盛況で終わることができました。役員の皆様、令和7年度もよろしくお祈りします！

交流会&夏祭り



リサイクルバザー



令和6年度保護者会活動最後の企画イベントとして5月中旬に開催された『キラキラ交流会』は「ママ友・パパ友を作ろう！」という趣旨のもと開園当初から継続的に開催されているイベントです。今回は全家庭の半数を超える40家庭の方が参加されました。6月初旬の『キラキラなまつり』では保護者会運営委員の方をはじめ有志の保護者の方にお手伝いいただき無事に開催できたことに改めてお礼申し上げます。

成育児童センター



Together with!

「好き」を仕事に！未来の先生へ
保育のシゴト、はじめの一歩



私はまだ入社したばかりでまだまだ経験がないため色々なことで迷ってしまうことがあるのですが、多くの先輩から学び、時には悩みを相談しアドバイスをもらいながら、毎日子どもと関わることで子どもの成長とまた自分自身の成長を感じることができ、保育士になってよかったなと思います。このような思いが一人でも多くの後輩たちに伝わり、自分も頑張ってみようかなと思えるきっかけになってくれたら嬉しいです。

学生さんと会話をする中で職員の人間関係と乳児幼児の希望のクラスになれるかの二点が気になる点なのではないかと感じました。人間関係の面では私も就職前は気になるポイントだったのですが、いざ就職すると先輩方は優しく困っていることがあるとすぐに相談できる環境で、不安な点はすぐに吹き飛んだので安心して選んでもらえるのではないかと思います。また、希望のクラスに関しては当法人は様々な施設があることに魅力を感じます。心配なことはたくさんあると思いますが、子ども達と過ごしていると自然と笑顔になる場面が多く、保育士は仕事の中で癒されるということが一番の魅力ではないかなと思います。また、園の雰囲気や職員の様子等は実際に見に来てもらえるとわかると思うので、各園の見学にぜひお越しください。お待ちしております。

成育児童センターの職員が母校を訪問



保育士養成校の就職説明会に参加しました！



採用試験
7/26 ± 8/30 ± 9/27 ± 10/25 ± 11/29 ± 12/20 ±

処遇・条件 (令和8年度) 経験者加算あり	
給与 手当 (月額)	四大卒…………… 259,000円 短大・専門卒…………… 250,000円 <small>(基本給 四大卒214,000円/短大専門卒205,000円・処遇改善手当45,000円含む)</small> シフト手当(上限3万円)・通勤手当(上限3万円)・住宅手当(上限2万円)・時間外手当・保育士等宿舍借上げ制度 <small>※都島児童館、それ以外勤務は宿舍借上げ制度対象外</small>
賞与	年2回(基本給の2カ月) * 2年目から4.6カ月
勤務 時間	7:00~18:30(開園時間) 週平均40時間以内 ※シフト制のため勤務時間は日によって異なる
休日 休暇	日曜祝日・シフトに定める日・夏季・年末年始(年間111日) 有給休暇・特別休暇(慶弔・リフレッシュ等)
福利 厚生	社会保険加入・退職金制度・育児介護休業制度 各種表彰・職員懇親会(年2回)・サークル活動補助・被服(エプロン・ジャージ)支給・給食費一部負担等
その他	昇給(年1回)、試用期間 基本6カ月 新人研修、勤務年数経験に合わせた法人内研修あり

- 募集職種 保育教諭 及び 保育士
- 採用人数 10名程度
- 提出書類 履歴書・成績証明書 (郵送の場合…試験日7日前まで 持参の場合…試験日2日前まで)
- 試験内容 面接のみ
- 試験場所 都島児童センター(都島区都島本通3-4-3)
- 開始時刻 全日程10:00~
- 応募資格 保育士資格及び幼稚園教諭免許取得者
または令和8年3月資格取得見込み者

上記以外の日程もご都合に合わせて面接を実施いたします
下記の電話番号またはメールアドレスまで
お気軽にお問合せください



毎週 **月 木 曜日** に見学会開催中
まずは施設の雰囲気を体験してください！
見学申込みはこちら
その他の曜日をご希望の場合は
施設に直接ご連絡ください

LINE & インスタグラムで
採用情報更新中!!
お友達登録、フォローお願いします!

社会福祉法人 都島友の会 本部事務局(担当:山下)
お問い合わせ TEL: 06-6921-0321
saiyou@miyakojima.or.jp

勤務地 (都島区・城東区) (園児年齢・利用定員)

幼保連携型 認定こども園	●都島児童センター (0~5歳児・309名)
	●友洲児童センター (0~5歳児・236名)
	●成育児童センター (0~5歳児・96名)
	●桜宮児童センター (0~5歳児・165名)
	●ひがみや児童センター (0~5歳児・240名)
保育所	●都島乳児保育センター (0~2歳児・70名)
	●都島第二乳児保育センター (0~2歳児・60名)
	●都島友洲乳児保育センター (0~2歳児・40名)
児童発達 支援センター	●こども発達サポートステーション (2~5歳児・30名) それ以外
放課後児童 健全育成事業	●放課後児童クラブ (小学生1~6年生・160名) 都島児童館

ひまわりの郷

有本好子様 テレビ出演 (クイズ!昭和100年)

なぜ、ひまわりの郷の入所者である有本好様が、テレビ局の出演されたと思いませんか? テレビ局の関係者とは全く関係がなく、また、出演に応募した訳でもありません。

実は、都島友の会のデイサービスひまわりで就業されていた元職員の方が、「探偵ナイトスクープ」に個人の調査依頼をされたところ、残念ながら放映までは至らなかったようですが、番組スタッフより「100歳の元気な方を探している」と逆に依頼を受けたようです。高齢者福祉に携わっていた元職員であったので、特別養護老人ホーム「ひまわりの郷」を紹介していただき、今年百寿になられる有本好様に出演していただく運びとなりました。



↑取材の様子と実際のオンエアの様子

司会者である「SUPER EIGHT」村上真吾さんに会えないと残念がっていたのを思い出しています。

出演から待ちに待った撮影日の令和7年4月21日までは、怪我なく出演していただくため、見守りの強化を行いました。

さて、撮影当日は、すぐに始まるのではなく、朝から機材の持ち込みや音響等のテストを行い、数時間後に、撮影の準備を行うテレビ局に心を寄せたところです。

令和7年5月7日(水)放送日、SUPER EIGHT 村上真吾さんが司会を務めるMBS「クイズ!昭和100年」に放送されました。クイズの内容は、ステーキ・米飯・味噌汁・玉子焼き・焼き鮭・ひじき煮の中から100歳のおばあちゃんは何から召し上がるのかというクイズでした。

有本好様が最初に口にしたのは、番組スタッフが用意したステーキです。これには、回答者もびっくりしていた様子でした。お肉を食べた有本好様は、「お肉を食ったのか」「私は肉しか食べんから」「こんな婆さんじゃなくて、もっと若い子の方がいいの」と会場を大笑いにするコメントもいただきました。

最後の逸話として、元々、お肉が好物な有本好子様。実は、ステーキは150g用意していただき、撮影時は、数口だけ召し上がったようですが、撮影後、余すところなく完食でした。

ご長寿の秘訣は、何でも食べることで、そして、お肉です。

節目の年に

本部事務局長 寄瀬博光

今年2025年は、昭和100年、戦後80年となる節目の年である。またNHK大阪放送局(JOBK)が、ラジオ放送を開始して100年の年でもある。

この100年、80年にちなんで、各方面でいろいろな行事や催しが繰り広げられている。つい最近も、毎日放送(MBS)が、放送開始100年ということで制作されたテレビ番組に、都島友の会の特別養護老人ホーム「ひまわりの郷」に入居されている100歳の方が出演され、ご本人のお元気でユーモアたっぷりの話しぶりが話題となったところである。(右のページをご覧ください。)

また会社・学校などにも創立記念日という節目がある。都島友の会の各児童センターの卒園生の多くが通っている大阪市立都島小学校も今年、創立150周年。記念誌の発行や秋には記念式典が行われるとのことである。



↑ 成育児童センター

都島友の会にも節目の年がある。都島友の会は、来年(2026年)3月1日、創立95周年を迎える。初代理事長比嘉正子が、北市民館の志賀志那人館長の指示により、都島区で公園を利用して青空保育園を開設したのがスタート。名称は北都学園、名誉園長山野平一氏から園舎の提供を受け、翌年、私立都島幼稚園と改称。開設した年(1931年)は、大阪のシンボルである大阪城天守閣が、市民からの寄付(募金)によって、鉄筋コンクリート造で再建された年でもある。

都島友の会は、戦中・戦後を経て、昭和・平成・令和の時代を、地域の皆様のお支えをいただきながら歩んできた。この間、時代の要請に沿いながら事業を展開してきたが、特に節目である創立100周年記念事業として、新園の開設や、増築・大改修工事を実施してきたところである。

当時、城東区から都島友の会の各園を利用される方が多く、定員96名でスタートした。平成27年には幼保連携型認定こども園へ移行。今年、開園15年を迎え地域からも信頼され期待もいただいている。また成育地域の発展とともに、毎年、多くの入園希望者がある。このようなことから地域のニーズに応えるとともに、保育室の充実・ホール等の設置など環境整備のため、同園の隣接地に50人程度の増築工事を、創立95周年記念事業として行うこととなった。現在準備を進めており、工事は秋10月頃に始まり、来年7月に竣工予定である。

工事期間中は、地域の皆さん、保護者の皆さんにご迷惑やご不便をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のもと、よろしくお願ひ申し上げます。

こんにちは ひまわりネットです

子どもたちや地域の方が気軽に立ち寄れる場所に、いろいろな方との新しい出会いを大切にしていきたいです。

なんでも相談室
子育て・障がい・介護・生活に関することなんでも相談

学ぶ・参加する
職員のスキルアップ研修や地域の方のリフレッシュ講座等

憩う・楽しむ
お茶を飲んでほっと一息したり、絵本を見たり読んだり、楽しくおしゃべりしてほっこり

1階【カフェひだまり】
「だだいま〜」と帰ってきた学校帰りの子どもたち。おしゃべりしたり本を見たり…。のんびりまったりと居心地のいい場所です。



2階【いいね!文庫・絵の本ひろば】
子どもも大人も関係なく自分のペースで自由に本を手にとって楽しめる心地いいスペース。是非、お気に入りの本を見つけませんか♪
絵本の貸し出しも行っています。

比嘉正子地域貢献事業研修センター



カフェテリア ひまわり

「ふれあい・交流」の拠点

カフェテリアひまわりは、今年で6年目を迎えます。カフェテリアひまわりは、関わり合う人が、その人らしい生活ができるような社会の中で役に立ち、高齢者、子ども、地域の皆様との機会を多く持ち、「ふれあい・交流」の拠点を目的としています。

新型コロナウイルスのため、「ふれあい・交流」の拠点を休止した時期もありましたが、新型コロナウイルス5類移行に伴い、地域活動を通し、ボランティアのご協力も得ながら、様々な活動を展開しています。

最近の活動報告として、地域の独居高齢者を「ふれあい・交流」の拠点に招き、「お花遊びサロン」、「三線演奏会」、「終活フェア」などを開催しました。ぜひ、カフェテリアひまわりにお越しください。



↑カフェテリアひまわりのInstagramはコチラ!

PRESENT

「ゆんたく41号見たよ」と申告していただくと
先着30名様にミニドリンクをプレゼント!!

※期間：8月末まで

◎コーヒー・紅茶 (Hot or Ice)
◎ジュース (りんご or ぶどう) から一つお選びください

NEWS

月間福祉7月号に当法人の施設が紹介されました!

療育と保育の連携で
すべての子どもに安心を